

# 序

皆様謹んでありがとうございます。『ステップ ビヨンド レジデント』も5巻目になってしまいました。5巻になってしまうと、もうこりゃ、「○○ギャラクシアン△□スーパーパンチ〜！」(参考文献：少年○ヤン○)などと言いながら、ワンシーンのみで見開き全部使って絵を描いてしまうぐらいずるい漫画に匹敵するような引っ張り方じゃないのかえ？と思っているあなた！残念でした。医学は深遠，膨大な量があり，5巻やそこらで言い尽くせるものではないですねえ。良かった良かった。

今回はバリバリの外傷からどこにでもあるような外傷まで外科系中心にいろいろ取り扱ってみました。お作法外傷診療よろしくいろいろ決まりごとが多い世の中ではあるけれど，実はエビデンスとしてはかなり古かったり，まだまだ確立されたものではないことも多いのに驚かされる。最新の外傷の知識をしっかりと仕入れて，無理無駄むらのない外傷診療をしましょう。本書を読んで，画像一発診断なんて危ない橋を渡らないで，経時的に患者を観察し，一見大丈夫そうに見える重症外傷をきちんと恐がる手段を知っておこう。

一般の外来では内科系疾患が多いのは疾患頻度からみて当たり前だが，それなりの軽症の外傷も実は通常外来では多い。「専門科にとらわれず，ある程度のことは診られるようになろう！」の精神で始まった新臨床研修制度ではやはりマイナーな外傷だからと言って，そこそこ診られないといけない。「はい，次の日に外来に来てね」とだけ説明して痛み止めを出して帰すだけなのは心もとないよねえ。本書を読んで，なんでもかんでも夜中に整形外科を呼び出すなんてことはしなくてもいいようになろう。正しくびびって清く正しく美しいコンサルトができるようになりたいね。

軽症が軽症であると言うためには，飽きるほど軽症を見たものだけが正しく判断でき，その軽症の中から「いつもと違う」隠れた重症を見つけ出す勘所が磨かれるのだ。軽症そう…をなめたらいかんぜよ！腰痛も打撲もたくさん見れば，コワイ疾患や骨折を臨床的に判断できるようになるものだ。今あるエビデンスと照らし合わせながらこの『ステップ ビヨンド レジデント 5』を読み進めていけば，バリバリ指導医間違いなし！外科系以外の指導医もぜひ読んでくださいまし。この程度の外傷で！なんて言わないで，エビデンスをつきつけ，かつ満面の笑顔で対応できるようになろう！

チョロイ怪我，でもアカデミックに，志たかく診療しよう！頑張れ，ポストレジデント！

## 本書の正しい使い方

- ・とりあえず購入したらすぐに自分の名前を書き込む、または判子を押す（買ってすぐ取られた、なくしたという人って結構多いんだよねえ）
- ・『ステップビヨンドレジデント』3と並行して5を読んで、よくある外傷に強くなる
- ・『ステップビヨンドレジデント』1～5を積み重ねて丁度いい高さの枕にしてみる
- ・「比較的軽症外傷なら別に診なくても次の日にまわせばいいじゃん」という研修医を尻目に、専門外でもここまでできるというポストレジデントの切れのよさを見せつける
- ・レジデントノート連載時と比べて、どこがどう変わったかを見つけて喜ぶ
- ・追加必読文献があると思ったら、Dr. 林に教えてくれる。アリガトウ！
- ・初期研修医が本書を読んでいたなら、さりげなくたくさん文献を宿題に出して、本書を自分より先に読んでしまうことを避けるべし
- ・ただの急性腰痛症患者の診察で、本書片手に研修医にウンチクをたれすぎて、外来の回転を遅くしすぎてはいけない
- ・チョロイ急性腰痛症患者に「私が、責任を持って4週間でほとんど痛みをとってみせましょう」とホラをふいてみる（…って言うか、自然にそうなる）
- ・肩関節脱臼が来たらピッチを鳴らしてもらい、自ら出向いて肩関節回旋法で自信をもって治し、患者さんやナースから絶賛の声を浴びる
- ・ノックダウンガス中毒患者が来てもノックダウンされずに、素早く対処できるようになっておく
- ・『ERアップデート』セミナーに本書を持って行き、Dr. 林に見せて、「どうもありがとうございます」と言わせしめる
- ・情報は新鮮だけど、冷蔵庫に保管はしなくていいので注意する
- ・新鮮な情報が多くても冷凍庫に入れると、収集がつかなくなるので注意する
- ・「朝採れトマトのほうが新鮮じゃん」と言って本書を非難しない「愛」をもつ

いつもながらこのような拙筆な自称医学書を、社名に傷つくことも恐れずに出版して下さる羊土社の皆様に感謝いたします。そして、いつも元気をくれるレジデントに心からありがとう！ガッツのあるレジデント大募集中！

平成20年10月吉日

林 寛之